



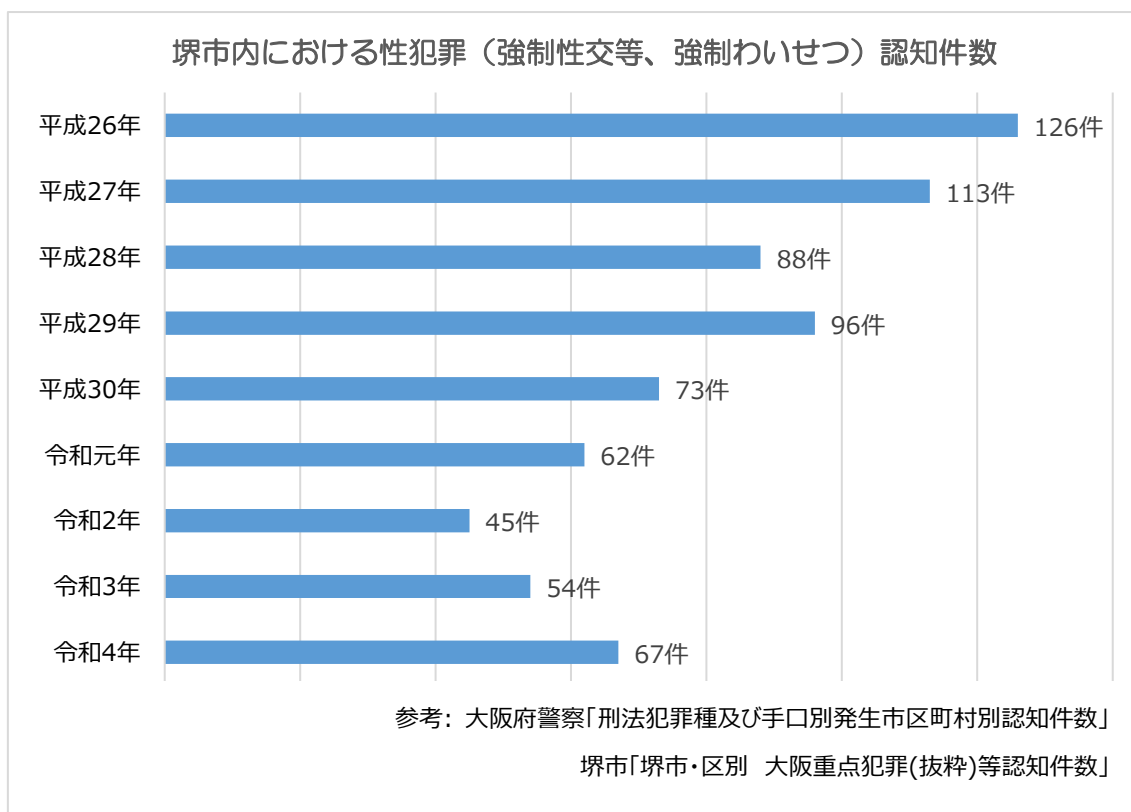
セーフシティさかい推進事業

1 セーフシティさかいとは

女性や子どもをはじめ、すべての市民が安全・安心に暮らせる社会の実現に向けて、「セーフシティさかい」の取組を推進している。性暴力被害への対策や、被害者にも加害者にもならないための当事者意識の啓発、被害を受けた場合の適切な相談方法や相談窓口の情報発信、被害者から相談を受けたときに寄り添うことのできる人材の育成等の取組を実施している。

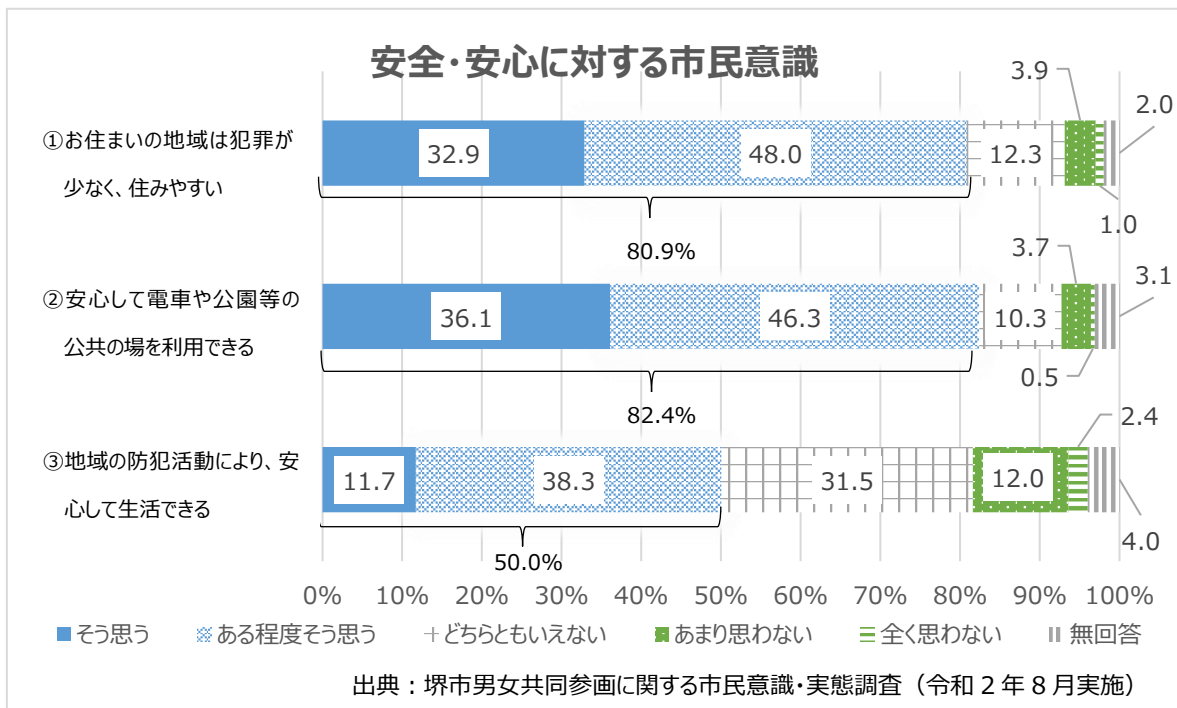
関係部署や関係機関と連携しながら取組を推進する必要があるため、推進組織として「セーフシティさかい推進会議」を設置している。

2 評価指標について



令和4年の認知件数は前年比で増加したものの、「セーフシティさかい」の前身である堺セーフシティ・プログラムの取組の開始前（平成26年）と比較すると、約半数の67件となっている。

令和4年3月に策定した第5期さかい男女共同参画プランでは、令和8年度の目標として、令和2年の45件より減少させることとしており、性犯罪のない社会に向けた取組を推進していく必要がある。



①「お住まいの地域は犯罪が少なく、住みやすい」、②「安心して電車や公園等の公共の場を利用できる」、③「地域の防犯活動により、安心して生活できる」の「そう思う」、「ある程度そう思う」の合計値をセーフティさかいの評価指標としている。また、第5期さかい男女共同参画プランにおいては、令和8年度の目標値を①、②は85.0%、③は55.0%としており、地域の安全・安心に向けた取組を推進していく必要がある。

3 セーフティさかいの主な取組

デートDV等予防出張セミナー

重大な人権侵害であるDV・デートDV・性暴力などの暴力の根絶のためには、次世代を担う若者が、正しい知識を身に付け、被害者にも加害者にもならないという当事者意識を高めることが特に重要である。このような認識のもと、堺市内の小学校、中学校、高校、大学、専門学校の学生を対象に、専門知識を持つ団体等から講師を派遣し、デートDV・性暴力の予防啓発セミナーを実施している。



デートDV等予防出張セミナー
(小学生)

令和4年度は、12校の申込があり、13講座実施した。1,585人が受講し、アンケート結果でも9割以上の生徒がデートDVや性暴力への理解を深めたと回答している。セミナーを受講したことで、生徒が当事者意識を持ち、暴力は許されないものであることが理解できたことがわかる。

令和5年度から取組をさらに強化するため、中学生以上を対象に、チカン被害対策についての講座も実施している。

大阪公立大学学園祭でのパネル展示

毎年 11 月頃に開催される大阪公立大学学園祭（白鷺祭）において、主に若年層への啓発を目的に、セーフティさかいに関する取組を紹介するパネル展を実施している。児童虐待と女性への暴力防止の運動である「オレンジ&パープルリボンキャンペーン」の取組もあわせて周知している。



白鷺祭でのパネル展示
(大阪公立大学なかもずキャンパス)

令和 4 年度は来場者数が 427 名で、アンケート結果からも 9 割以上の方がセーフティさかいへの理解を深めたと回答している。